

# 所長の部屋

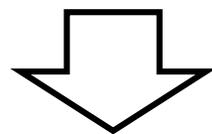
保健所における **健康危機管理体制** について

2023年12月

福島県 県南保健福祉事務所

*Ken-nan Public Health and Welfare Office of Fukushima Prefecture*

2023年も 今月で終わりますが、  
今年最後の話題は、  
**危機管理**、特に**健康危機**について です



危機とは何か？

特に、健康危機 とはどのようなものか？  
それについての 対応は？

**やや難しい所もありますが、最後までおつきあいください**

# 危機 とは何か

**危機** とは、

地域住民

(通勤通学者・観光客等一時的滞在者を含む)

の生命、身体及び財産に  
直接かつ重大な被害が生じ、  
又は生じるおそれがある**緊急の事態**をいう。

# 危機の種類

- ① 地域防災計画の対象となる自然災害及び事故災害
- ② 国民保護計画の対象となる武力攻撃、事態及び緊急対処事態（大規模テロ）
- ③ **感染症などによる健康危機等**、その他の危機

# 自然・事故災害関係の危機事案

- ・ 地震、津波
  - ・ 台風、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮
  - ・ 航空機事故
  - ・ 船舶事故（大規模火災、油流失、沈没等）
  - ・ 鉄道・道路事故（大規模衝突、火災等）
  - ・ 放射性物質の事故、その他危険物事故
  - ・ 群集雑踏事故
- 地域防災計画の対象となるような事案

# 国民保護関係の危機事案

- 武力攻撃事態  
（着上陸攻撃、ゲリラや特殊部隊による攻撃、  
弾道ミサイルによる攻撃、航空攻撃）
- 緊急対処事態（大規模テロ）  
→ 国民保護計画の対象となるような事案



# その他の危機事案

- **健康危機（新興・再興感染症、大規模食中毒、飲料水汚染、BSE・鳥インフルエンザ等の家畜伝染病、毒劇物等による健康被害）**
- 環境危機（大気、水質、土壌等の汚染事故）
- 暴動、凶悪連続犯罪等の重大事件
- ライフラインの大規模の停止
- 情報危機（大規模通信障害、個人情報の大規模漏洩事故）
- 学校教育施設における事件・事故

# 危機管理とは何か

- ・ 危機発生（リスクの顕在化）の防止
- ・ 危機拡大の防止
- ・ 人的・物的被害の極小化
- ・ 再発防止のための組織的・体系的な  
一連の行動

# 危機管理の3つのステージ

- ①事前対策： 危機発生予防・備え
- ②応急対策： 被害の最小化
- ③事後対策： 復旧・復興と再発防止

# 事前対策 (平時の備え)

- ・ 危機管理体制・マニュアルの整備
- ・ 訓練（シミュレーション）の実施
- ・ 資機材等の整備
- ・ 関係者の研修・県民啓発



# 応急対策

(災害時対応)

- **的確な情報処理**  
→情報の収集・分析・伝達・共有化
- **対処方針の決定**
- **被害者の迅速な救助・保護**
- **被害の拡大防止**
- **相談体制の確保**
- **広報活動**



# 危機レベルに応じた対応

①レベル1（危機の兆候、軽微な人的・物的被害）

→組織の立ち上げ、情報の収集

②レベル2（重大な人的・物的被害があり、  
さらなる被害の拡大が予想される）

→組織的な危機対応、関係機関との連携

③レベル3（甚大かつ広範な人的・物的被害、特異な危機事案）

→組織をあげての危機対応、他機関・専門家の支援の要請

# リスクコミュニケーションとは

**リスクコミュニケーションとは  
実際にリスクが起こったときに  
関係者間で  
コミュニケーションを取り  
情報共有を行いながら  
リスクに向き合うこと**

■図1 リスクコミュニケーションの段階と内容

段階	主なコミュニケーション	何を行うか
平常時 (緊急事態発生前)	<ul style="list-style-type: none"><li>• 行動変容を促す情報提供としてのケアコミュニケーション</li><li>• コンセンサスコミュニケーション</li></ul>	問題となるリスク及び対策についての知識と理解を深め、実際の行動に結びつけて備えを促進する。
▼		
非常時 (緊急事態発生)	<ul style="list-style-type: none"><li>• クライシスコミュニケーション</li></ul>	緊急的行動を引き出す。行動への介入・干渉の度合いが高く、トップダウン的な情報の流れ。
▼		
回復期 (緊急事態収束後)	<ul style="list-style-type: none"><li>• コンセンサスコミュニケーション</li><li>• ケアコミュニケーション</li><li>• リカバリーのコミュニケーション</li></ul>	今後の対策を含めた復旧・復興をどのように進めるのかについて合意を形成する。

※奈良由美子教授提供の資料を筆者が一部改変して作成

# 『危機管理』を構成する4要素

- インテリジェンス（情報収集）
- セキュリティ（発生と拡大の防止, 国民生活・経済の安定）
- ロジスティックス（物資・資源の調整, 国民生活・経済の安定）

## ■ リスクコミュニケーション

- ✓ 社会教育を通じて意識を共有し、議論しながら、リスクに対する政策について合意形成を行う過程全体を指す。
- ✓ 危機を防ぐために、様々なメディアを用いて実践するもの。

## ※クライシスコミュニケーション

危機が発生した状況において、人命を守るために必要な情報を様々なメディアを通じて伝達すること。

『リスクコミュニケーション  
多様化する危機を乗り越える』  
(福田充 著, 平凡社) より

# リスクコミュニケーションの展開

- **スピード感ある対応（迅速な意思決定と対応）**
- **疑惑を生まない積極的な情報開示**
- **社会的・公益的視点に立った判断  
（事なかれ主義の排除）**



# リスクコミュニケーションの目的

- **適切なリスクコミュニケーションは、  
パニックや過剰反応による二次被害を最小限に抑える**
- **住民不安の流れ 被害の拡大や二次災害に対する不安**
  - ⇒ **健康被害や環境汚染に対する不安**
  - ⇒ **風評や噂に対する不安**
  - ⇒ **補償問題に対する不安**
  - ⇒ **今後の類似災害に対する不安**

# 事後対策 (災害後の対応)

- **安全の確認と県民等への周知**
- **復旧・復興の推進**
- **事態及び対処方法に対する分析・評価**
- **マニュアル等の見直し**

# 健康危機管理の4つの側面

- 1) **健康危機の発生の未然防止**
  - 2) **健康危機発生時に備えた準備**
  - 3) **健康危機への対応**
  - 4) **健康危機の被害からの回復**
- 平常時の備え
- 健康危機発生時の対応

# 平常時の備え 1

- 1) 法令等に基づく監視等の事前管理の充実
- 2) 地域に特徴的な健康被害発生の可能性の把握
- 3) 手引き書の整備と実効性の確保

→ 各種マニュアルの確認と改訂

- 4) 非常時に備えた体制整備

→ 健康危機への対応の確認

- ① 非常時を想定した体制作り
- ② 統合組織における体制の確保
- ③ 人材の確保と資質の向上



**指揮連絡体制の確認**

→ すぐに応援を要請できるシステムの構築

- ④ 機器等の整備
  - ア 情報通信手段の確保
  - イ 検査機器等の確保

# 平常時の備え 2

⑤ 健康危機情報を迅速に把握できる体制の確保

⑥ 関係機関等との調整会議の設置等、  
連携の確保と非常の役割分担の整理

→ 健康危機管理体制調整会議等の開催

⑦ 備蓄体制の整備

5) 知見の集積（健康危機情報の収集、調査及び研究の推進）

① 健康危機管理に必要な情報の整理

② 専門的知識の習得 等

③ 調査研究の推進

6) 模擬的健康危機管理の体験

→ 模擬訓練やシミュレーションの実施

# 健康危機発生時の対応 1

## 1) 対応体制の確定

- ① 責任の所在、役割分担及び指揮命令系統の確認
- ② 保健所内の情報収集体制の確保
- ③ 職員派遣
- ④ 関係機関との連絡体制の確保

## 2) 法令に基づく対応

## 3) 情報管理

- ① 情報収集（被害状況、原因関連情報、対応状況、医療提供情報）
- ② 現場調査の実施
- ③ 情報の一元管理、分析、判断
- ④ 本庁への報告
- ⑤ 情報提供
- ⑥ 経過記録

# 健康危機発生時の対応 2

- 4) 被害者、家族及びその他の地域住民への対応
  - ① 医療確保に係る調整及び健康被害の予防
  - ② 被害拡大の防止
  - ③ 飲料水及び食品の安全確認
  - ④ 災害弱者対策
  - ⑤ 健康相談
  - ⑥ こころのケア
  - ⑦ プライバシー、人権への配慮
  - ⑧ 平常時体制への復帰 等

# 健康危機管理における保健所の役割

- 1) 健康危機の発生 of 未然防止
  - 2) 健康危機発生時に備えた準備
  - 3) 健康危機への対応
  - 4) 健康危機の被害からの回復
- 平常時の備え
- 健康危機発生時の対応

**保健所は、地域における健康危機管理の拠点**